

たまねぎ・ねぎの害虫防除はおまかせください!

ダイアジノン[®] 乳剤40

有効成分: ダイアジノン(PRTR・1種)40.0% 毒性: 医薬用外劇物

アブラムシ類、アザミウマ類、
ネギハモグリバエ、ネギコガ、
タマネギバエに優れた効果!

●たまねぎの登録内容

適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用時期	総使用回数*	使用方法
アブラムシ類	1,000			
アザミウマ類	700~1,200	収穫 21日前 まで	2回以内	散布
ネギハモグリバエ	1,000~2,000			
タマネギバエ	700			

●ねぎ・わけぎの登録内容

適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用時期	総使用回数*	使用方法
アブラムシ類 ネギコガ	1,000			
アザミウマ類	700~1,200	収穫 21日前 まで	2回以内	散布
ネギハモグリバエ	1,000~2,000			
タマネギバエ	700			

*本剤およびダイアジノンを含む農薬の総使用回数

®は日本化薬株式会社の登録商標

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

ダイアジノン乳剤40 の適用害虫及び使用方法

平成25年1月末現在の登録に準拠して作成しました。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1,000	100~300ℓ /10a	収穫30日前まで			2回以内
	キスジノミハムシ	1,200					
ブロッコリー カリフラワー	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1,000	100~300ℓ /10a	収穫21日前まで	2回以内		2回以内 (粒剤の生育期の処理は) 1回以内
	キスジノミハムシ	1,200					
ほうれんそう	アブラムシ類	1,000	100~300ℓ /10a	収穫30日前まで			2回以内 (は種時及びは種前の 土壤混和は合計1回以内)
	キボシマルトビムシ						
ねぎ わけぎ	アブラムシ類、ネギコガ	1,000	100~300ℓ /10a	収穫21日前まで	2回以内		
	アザミウマ類						
	ネギハモグリバエ						
	タマネギバエ						
あさつき	アブラムシ類、ネギコガ	1,000	100~300ℓ /10a	収穫30日前まで			2回以内
	アザミウマ類	700~1,200					
	ネギハモグリバエ	1,000~2,000					
	タマネギバエ	700					
たまねぎ	アブラムシ類	1,000	100~300ℓ /10a	収穫21日前まで		散布	
	アザミウマ類	700~1,200					
	ネギハモグリバエ	1,000~2,000					
	タマネギバエ	700					
なす (露地栽培)	アブラムシ類、テントウムシダマシ	1,000	100~300ℓ /10a	収穫開始3日前まで	3回以内		3回以内 (粒剤の生育期の処理は) 2回以内
	ハダニ類	1,000~2,000					
ばれいしょ	ア布拉ムシ類、テントウムシダマシ	1,000	100~300ℓ /10a	収穫7日前まで			3回以内 (植付前の土壤混和は) 1回以内
	アブラムシ類						
さやいんげん	ハダニ類	1,000~2,000	100~300ℓ /10a	収穫開始7日前まで	2回以内		3回以内 (種子粉衣は1回以内、 乳剤は2回以内)
	アブラムシ類						
さやえんどう 実えんどう	ハダニ類	1,000~2,000	100~300ℓ /10a	収穫開始14日前まで	3回以内		4回以内 (種子粉衣は1回以内、 乳剤は3回以内)
	アブラムシ類						
すいか メロン	ハダニ類	1,000~2,000	100~300ℓ /10a	収穫14日前まで	4回以内		4回以内 (粒剤の生育期の処理は) 3回以内
	キボシマルトビムシ	700					
	アブラムシ類	1,000					
きゅうり	ハダニ類	1,000~2,000	100~300ℓ /10a	植付時	1回		2回以内
	コガネムシ類幼虫	800					
芝	シバツトガ、スジキリヨトウ	1,000	100~300ℓ /10a	発生初期	4回以内		4回以内
	シバオサゾウムシ						

! 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 石灰硫黄合剤との混用はさせてください。
- 芝の害虫防除に使用する場合、コガネムシ類幼虫には散布液が土壤中に十分しみこむように散布し、シバツトガ、スジキリヨトウには芝表面、地際にまきむらないように散布してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことについてください。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかかるないようにしてください。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさせてください。
 - ③養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかかるないようにしてください。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかかるよう注意してください。

! 安全使用上の注意事項

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤があります。
- 原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。また、散布液も眼に対して刺激性があ

るので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布等作業の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意してください。
- ハウス内の散布後は、十分に換気し入室してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水産動植物(甲殻類、ドジョウ、ボラ)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。比較的低濃度でも魚が平衡失調等を起こすので、養殖池等周辺での使用は避けてください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

! その他の注意事項

- 危険物第四類第2石油類に属するので、火気には十分注意してください。
- 火気をさけ、直射日光が当らない鍵のかかるなるべく低温な場所に密封して保管してください。